

ICT分野の研究開発に関する一考察

KDDI株式会社
執行役員 技術渉外室長
冲中 秀夫

2009年10月20日

本資料の内容は、冲中秀夫個人の見解であり、KDDI株式会社の見解を代表しているものではありません。

1. 国家プロジェクトとしての研究開発のゴールは？
2. 研究開発における産学官活動の現状
3. 技術パラダイムの変遷
4. “官”に期待される役割

■ 人類の発展のために(国際貢献)

- 成果の非差別的(無償で?)供与

■ ナショナルセキュリティ(国防)

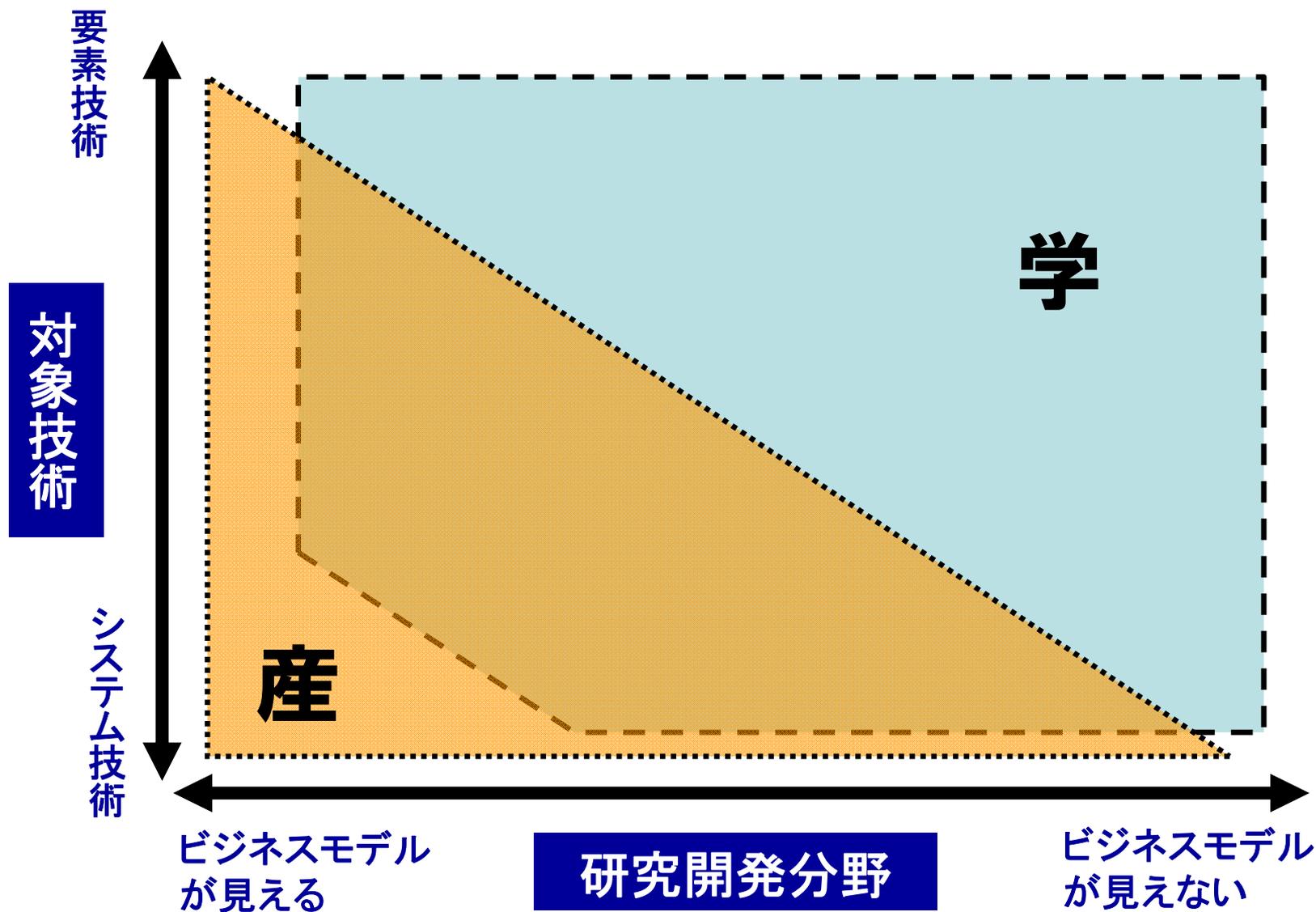
- 成果の囲い込み・非開示

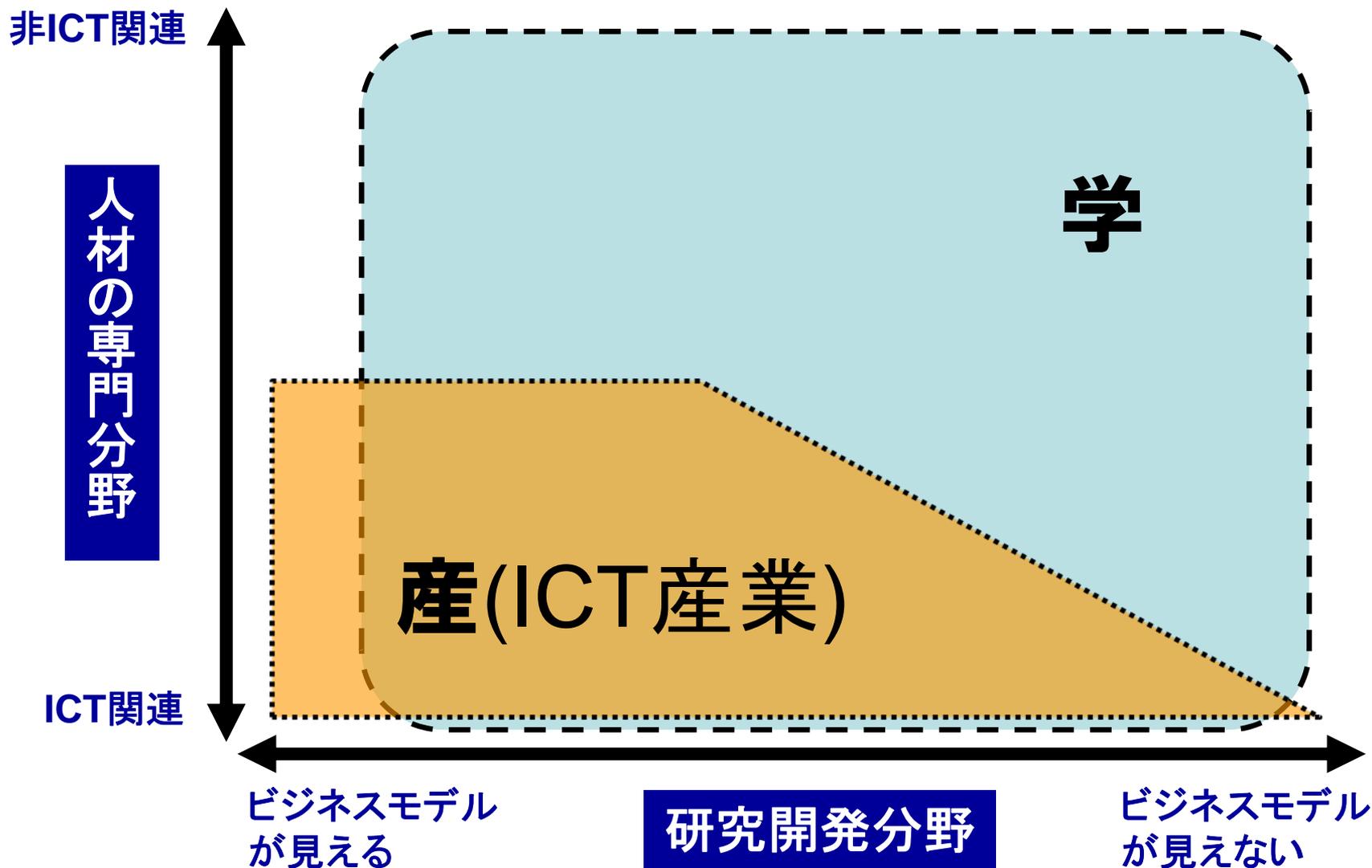
■ 産業育成(国力強化)

- 成果の国際標準化・市場獲得

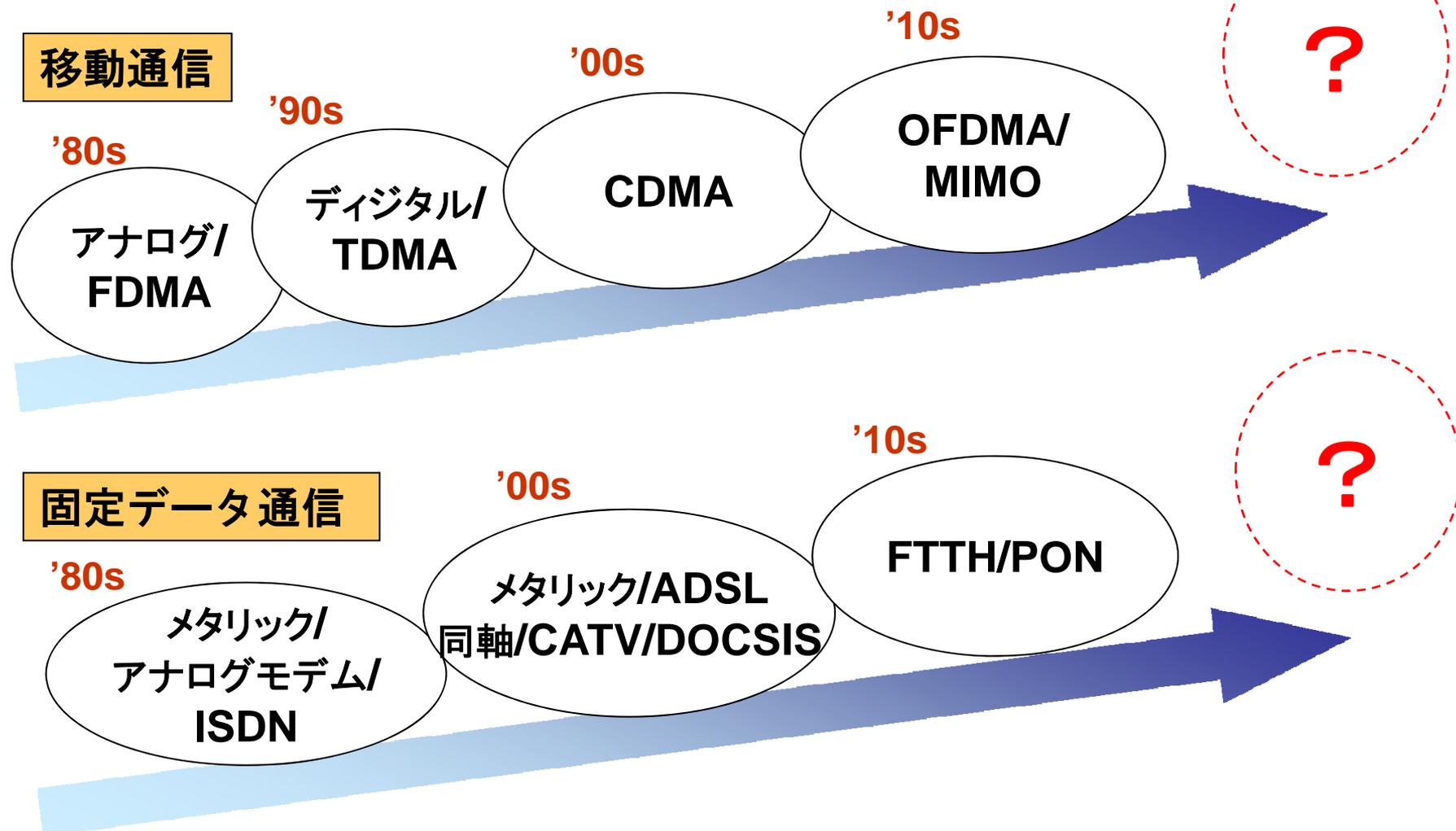
- デジュール標準(国際: ITU, ISO, IEC, IEEEなど)
 (地域: ATIS, ETSI, TTC, ARIB, TTA, CCSAなど)
- フォーラム標準(3GPP, 3GPP2, MPEG, IETFなど)
- デファクト標準(WinTel, VHS, Blu-ray Disc, FeliCaなど)

研究開発における産学官活動の現状(1)



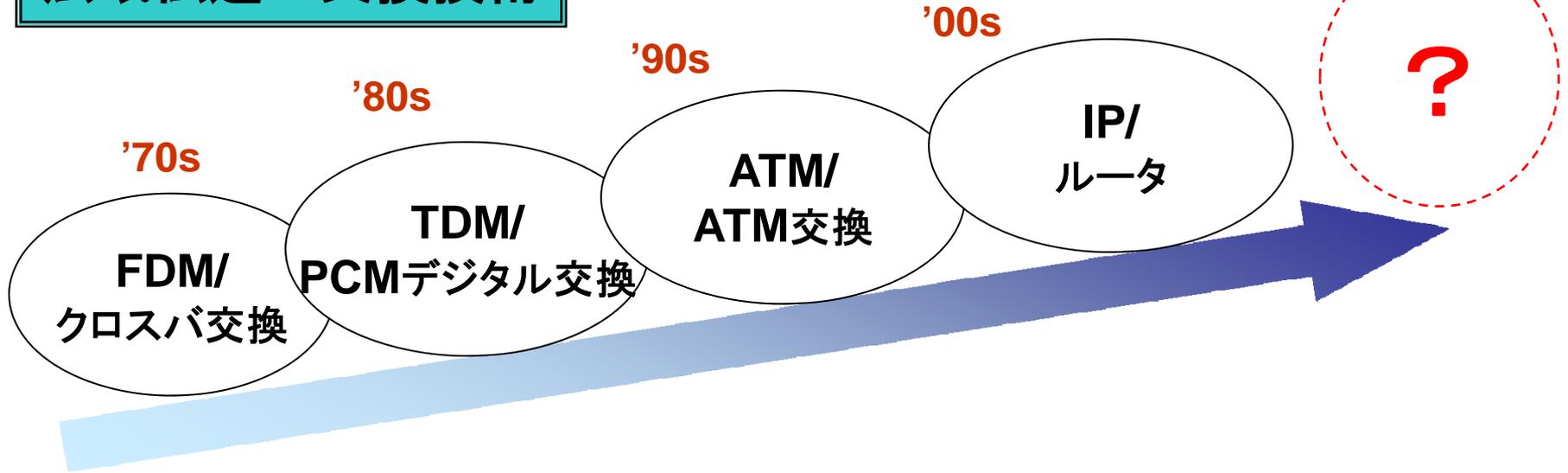


アクセス技術

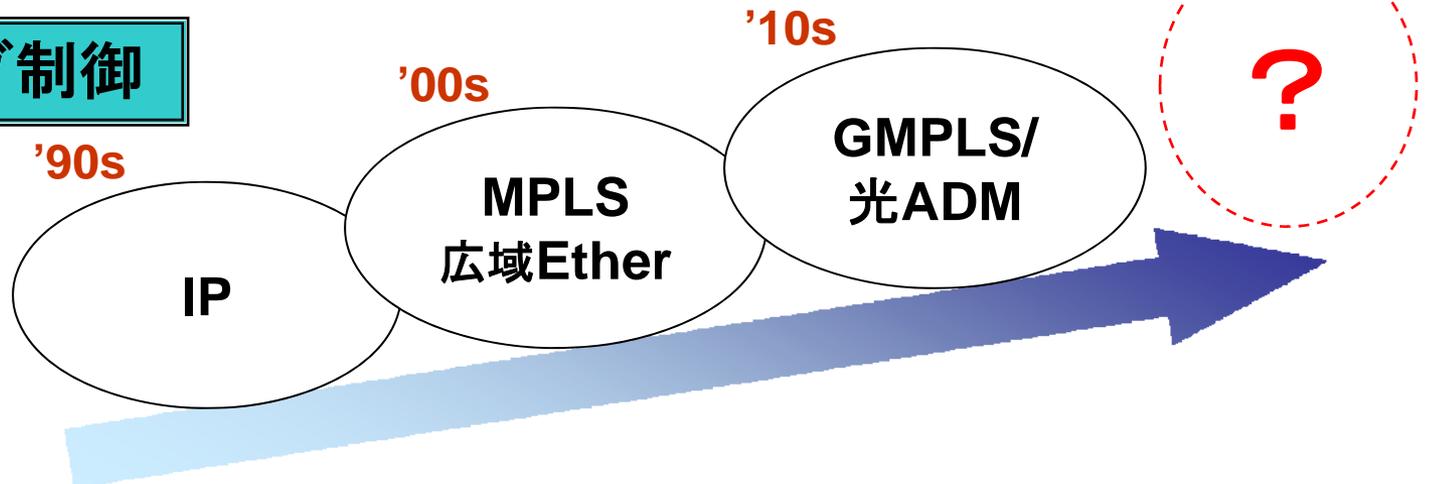


技術パラダイムの変遷 (2)

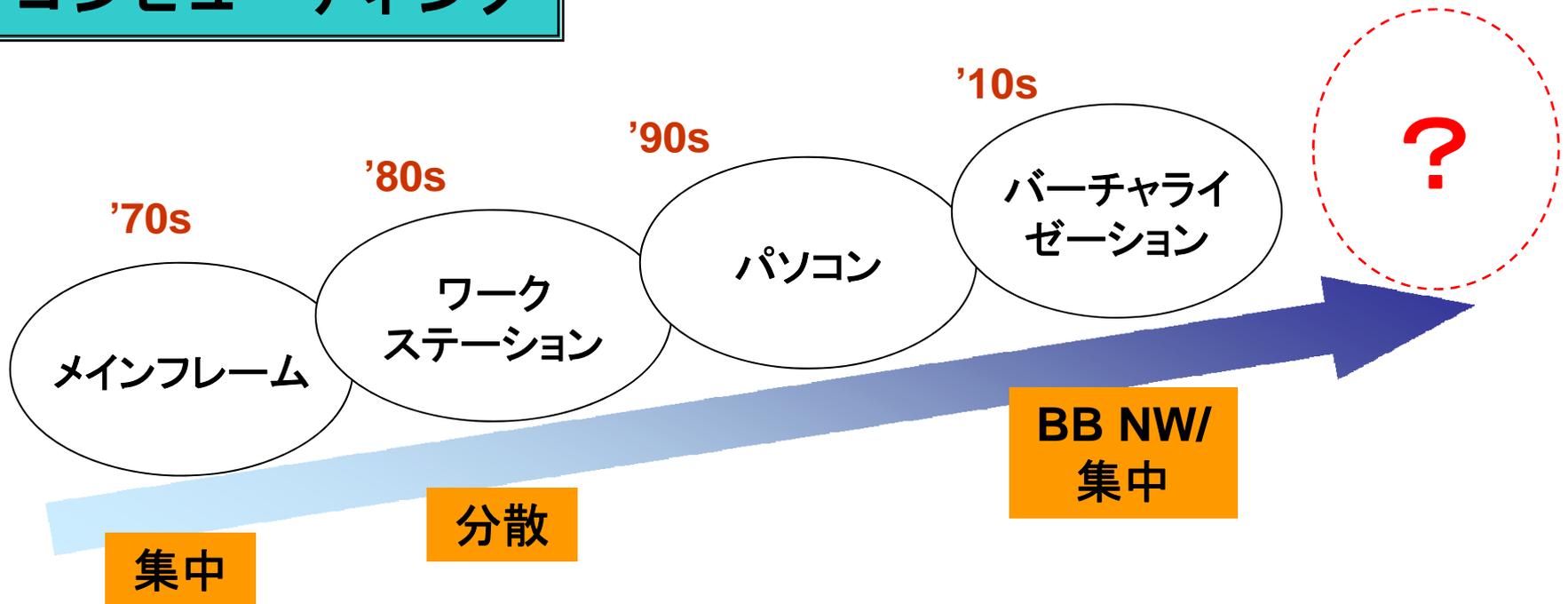
広域伝送・交換技術



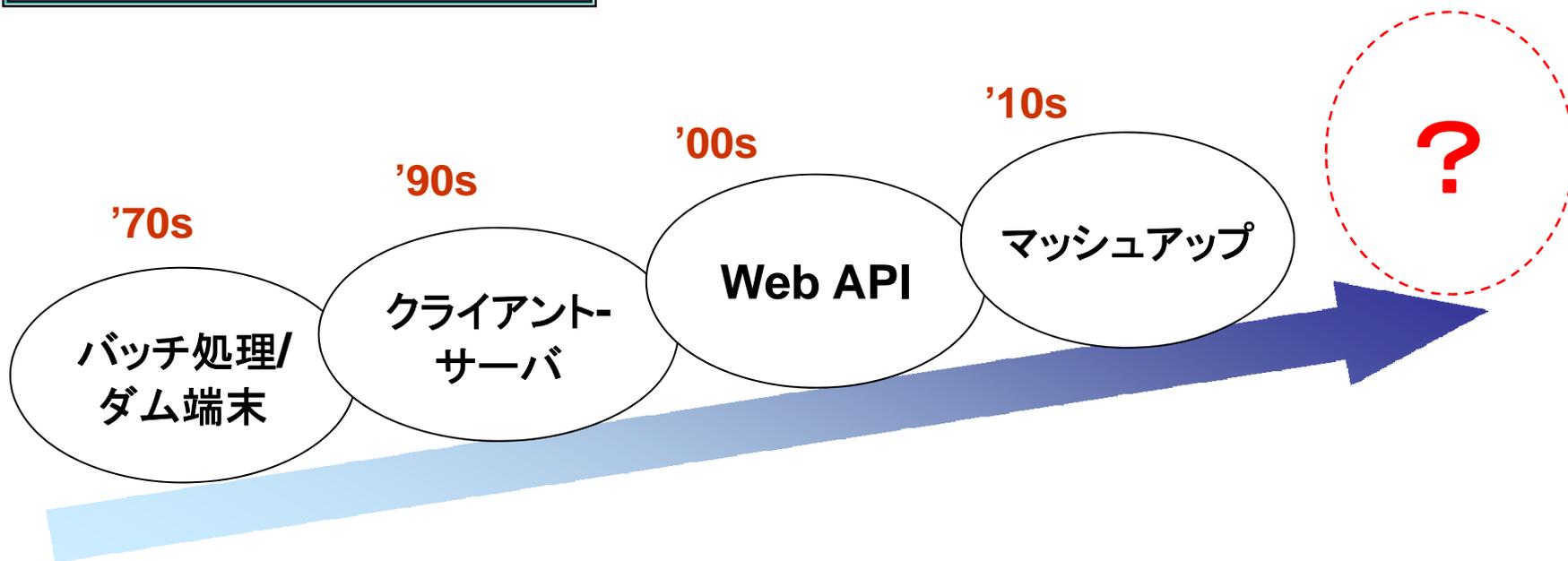
ルーティング制御



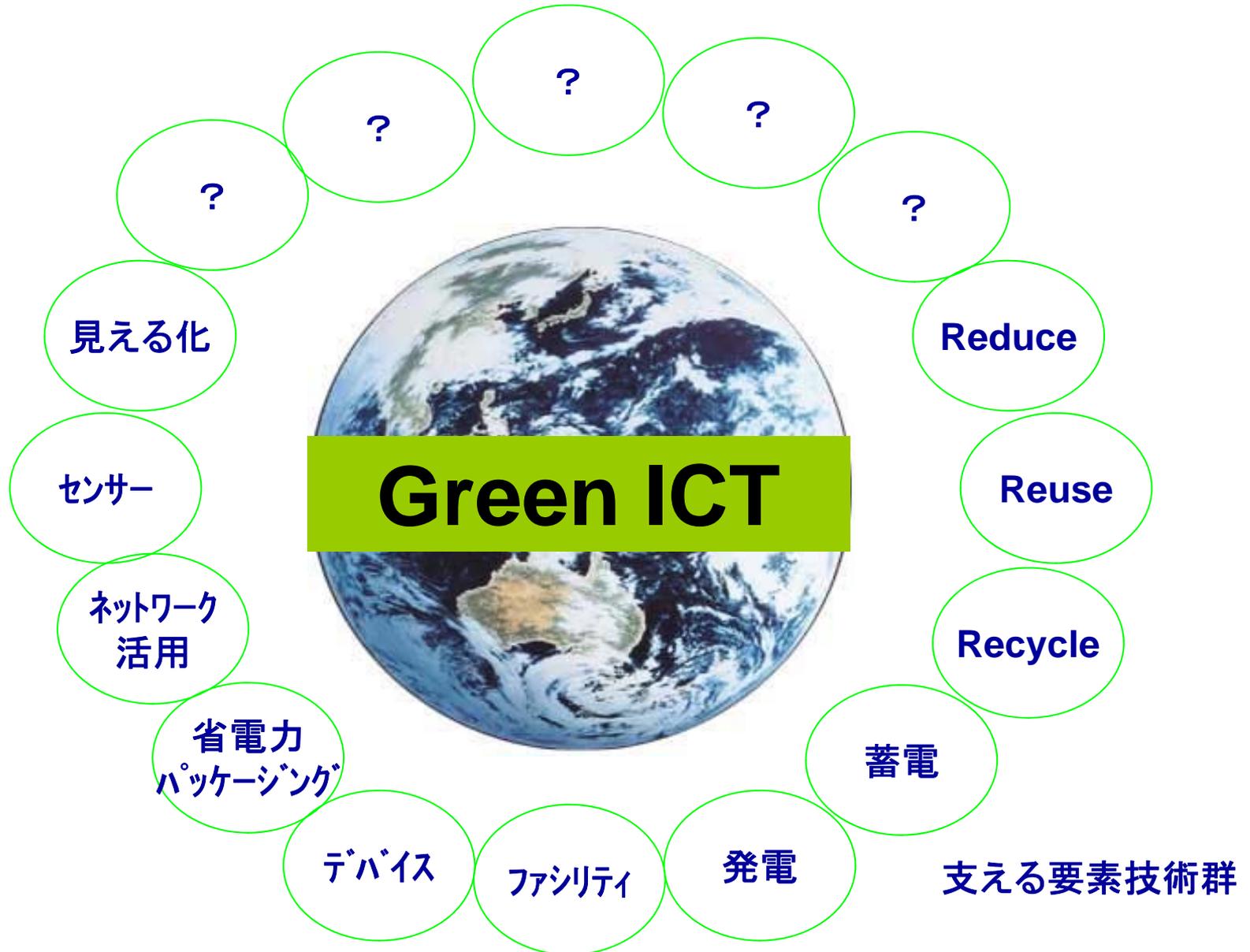
コンピューティング



ソフトウェアモデル



- ビジネスモデルが明確でない研究開発領域への“民”の資金・人材投下は十分とはいえず、“官”による重点的な支援が必要ではないか。
- 国際標準としてのシステム化は国際協調・IPRの分散が趨勢。日の丸システム開発ではなく、国際システムの必須要素となる要素技術の研究開発への“官”の支援が、国際競争力強化に有効ではないか。
- 技術パラダイムシフトが繰り返されている歴史に学び、“学”の持つ非ICT系技術者を巻き込む multidisciplinaryな研究開発領域への重点的な支援と、その領域の国際的なエコシステム作りへの政策的・資金的支援が必要ではないか。



Designing The Future

KDDI